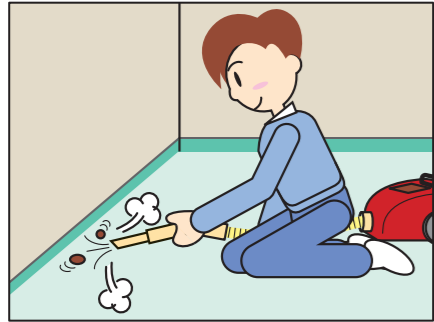


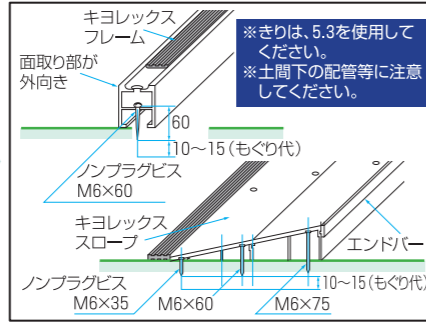
標準施工 ユニット構造だから、簡単にスピーディーに施工完了。

1 下地の処理および清掃



モルタル屑など突起物を取り除き、掃除機で砂やホコリも取り除きます。

2 框・スロープの取付



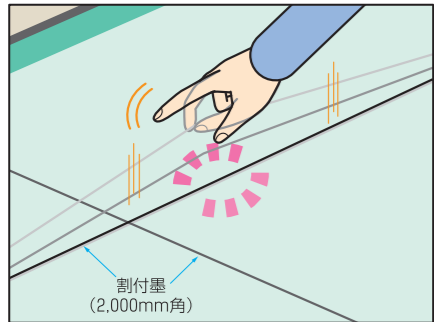
施工図にもとづき、框やスロープを取り付けます。

3 アンダーシート



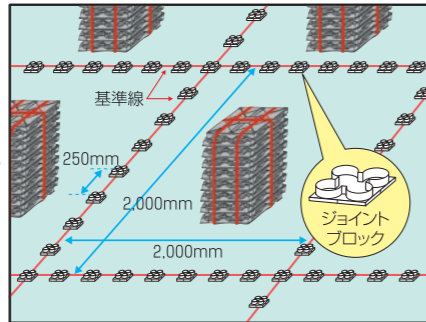
パネル下床面に敷き込みます。

4 割付・墨出し



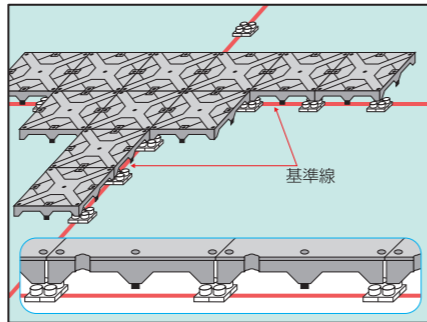
建築基準墨および施工図にもとづいて、床面に2,000mmピッチで割付墨を打ちます。

5 材料搬入・仮置



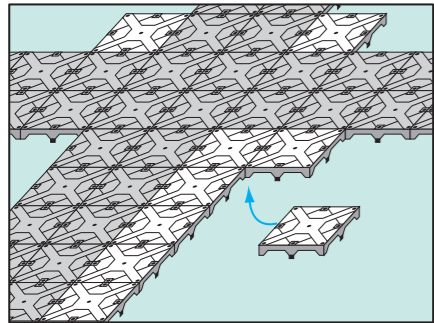
規格・数量・品質(外観)確認後、施工面積に応じてパネル及副資材を分散して仮置き、基準線にジョイントブロックを250mm間隔に仮置します。

6 パネルの連結



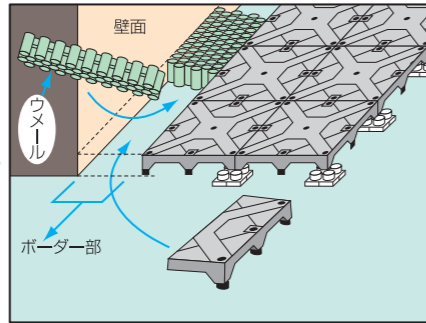
基準線に沿ってジョイントブロックを設置し、必ず2,000mmピッチでパネルの脚部を連結して行きます。

7 パネルの敷設



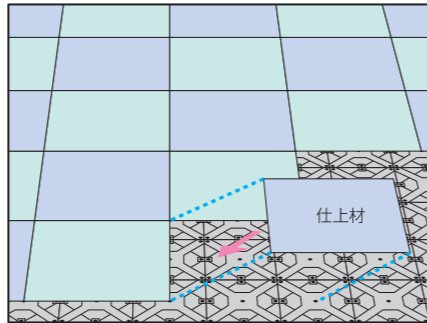
ジョイントブロックでの連結部以外は、そのままパネルだけを置き敷きにて敷設します。

8 ボーダー部の加工、敷設



壁際や柱まわり、スロープとのスキ間等は、寸法に合わせてパネルを丸ノコ等でカットするか、ウメール等を用いてボーダー部を埋めて調整します。

9 仕上材の敷込み



ピールアップボンドを塗布した後、パネルのジョイントをまたぐようにタイルカーベットを割付けて従って敷込んで、完成させます。

あらゆるニーズに自在に対応する豊富なフロアパーツ

**充填ボーダー「ウメール」**  
(H:40/H:50/H:70/H:95)  
壁際や柱まわり等のスキ間に使用します。  
(20φ×W286.2×H40・H50・H70・H95)

**キヨレックススロープ(アルミスロープ)**  
(H:40/H:50/H:70/H:95)  
スロープの設置により、台車・椅子等の通行がスムーズに行えます。  
(L1300×W312×H40)  
(L1300×W392×H50)  
(L1300×W532×H70)  
(L1300×W752×H95)

**スチールグレーチング**  
(メラミン焼付塗装)  
ファンコイルまわりの空気取入口及び、床下の換気口として使用します。床高調整には専用ボルト(別売)をご使用下さい。  
(L500×W250×H40~95)

**インナーコンセント**  
パネルの高さH50以上  
H:40用は別途ご相談ください。

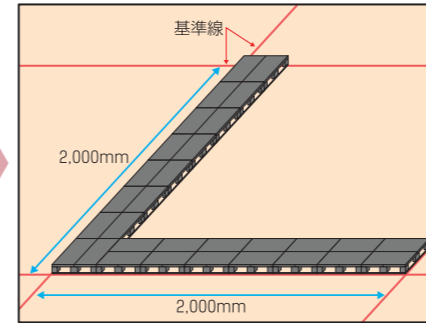
**アンダーシート**  
αタイプ (W1600×40m)  
βタイプ (W1600×20m)  
やぶれにくく、床になじみます。

**ピニック床用接着剤**  
ピニックP (18kg缶)  
タイルカーベット用  
ピールアップ接着剤  
JISA5536 F☆☆☆☆

**キヨレックスフレーム(アルミ框)**  
(H:40/H:50/H:70/H:95)  
一般フローアとの見切りに使用します。  
(L2000×W40×H47) H:40  
(L2000×W40×H55) H:50  
(L2000×W40×H75) H:70  
(L2000×W40×H100) H:95

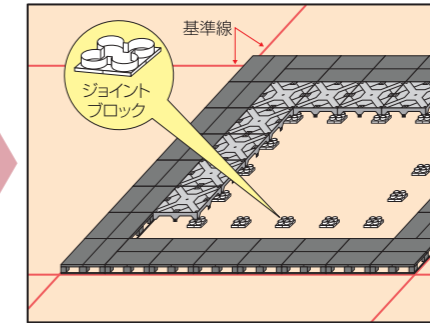
**ピットパネル**  
(H:40/H:50)

1 ピットパネルの敷込み



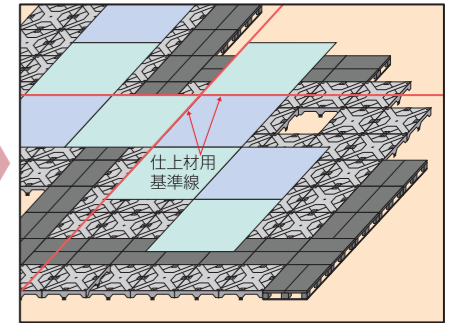
基準線に沿ってピットパネルを敷設していきます。  
※必ず2,000mmピッチでPITパネルを敷き設して下さい。

2 パネルの敷込み



敷き並べたピットパネルに沿って、フリープランフロアを設置していきます。  
※パネルを敷き並べる際は、無理に詰める必要はありません。ジョイントブロックは1,250mmピッチでフリープランフロアの脚部を連結して行きます。フリープランフロアは十分にクリアランスを設けて下さい。

3 仕上材の敷込み



ピールアップボンドを塗布した後、パネルのジョイントをまたぐようにタイルカーベットを割付けて従って敷込んで、完成させます。